



母子未来賞

多々良保育園（福岡市東区多の津）

テーマ：「すもうに」、チャレンジ！がんばれば、できる！

健康な心と体を育てるために、相撲に取り組んだ。礼に始まり、礼に終わるといった相撲には、全力を尽くす、相手のことを思いやるといった精神を身に付けるために必要な要素が兼ね備えていることに着目。土俵づくりは地域の協力を仰ぎ、子ども用のまわしは20本以上もそろえた。けがを防ぐため、練習では男性保育士が補助につくように配慮した。目標は6月に福岡県久山町で開かれる福岡地区保育園相撲大会。練習の甲斐があつてか、団体戦・個人戦ともに優勝した。15回を数える大会で、初めてとなる快挙に、子どもたちだけでなく、園、保護者らも大喜びだったという。



選考委員からのコメント

地域の方々と協力を得ながら、子どもたちの心身を鍛えていることに感銘を受けました。スポーツにつきものとも言えるけがに対する配慮がなされていることも好感が持てました。



優秀賞

心をゆさぶる共育の学舎（福岡市東区香椎）

テーマ：きれいなまち、すてきなまち「ぼく」たち「わたし」たちのまち

「子どもたちも地域の一員である」という事を自覚させるため、いつも利用している地域の歩道や海岸、公園の清掃活動に取り組み、その過程で環境NPOスタッフより環境3Rについて学び、実際にごみ焼却処理施設を見学した。行政機関が発行するパンフレットを児童が理解しやすいよう図やひらがなに替え教材にした。園外での取り組みであることから安全面には十分に配慮した。また、規律ある態度を養った。保育士、看護師のほか元幹部自衛官らがチームを組んで指導に当たった。



選考委員からのコメント

地域（社会）の一員であることを自覚させるという狙いに好感が持てました。



優秀賞

しあわせな木保育園（福岡市博多区竹下）

テーマ：子ども達主体で進める自然を取り込んだ環境保育

園庭も狭く、街中にある保育園ながら、子どもたちに自然に触れる楽しさ、大切さを感じてもらうため、季節ごとにさまざまな取り組みをしている。春はヨモギのだんご作り。梅拾いのあとは、梅ジュースや梅干し作りにも挑戦した。秋は地域の人から借りた畑で育てたサツマイモを収穫する体験も行っている。段ボールを使った「秘密基地」作りや泥んこ遊びには、仲間同士が屋外で遊ぶ機会が増えてくれれば、という願いも込められている。



選考委員からのコメント

狭い園庭という状況のなか、自然との触れ合いに力を入れていることを高く評価しました。